

令和8年度 事務事業評価シート（1）
〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	公共施設等サイン管理				事業番号	017-009	
担当部署名	建築都市局	局	都市計画部	部	都市景観課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—	
			無	取組の方向性	—				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も		ターゲット	8.9	
			有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			—					
3	事業開始年度			平成 7 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			堺市公共施設案内サイン整備計画、堺市公共施設案内サイン維持管理計画					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市民、来訪者				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	公共施設等に対する円滑な案内誘導を行うことで、市民や来訪者等の利便性を向上させる。					
8	事業内容	堺市公共施設案内サイン整備計画に基づく秩序ある整備の実施や、堺市公共施設案内サイン維持管理計画に基づく適切な維持管理により、市民や広域から訪れる不特定多数の人々を円滑に市内の公共施設等に案内誘導できるよう利便性の向上を図る。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	サイン作成業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	公共施設案内サイン機能確保率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100		
達成率			100%	100%			
当該指標を選定した理由		公共施設案内サインを適切に管理し機能を確保することにより、市内の公共施設等に誘導できるようになるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		公共施設案内サイン機能確保率＝機能確保済みサイン数／全サイン数					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	公共施設案内サインのうちオーバーハング式（OH式）のものについて5年に1回の頻度で点検を実施	%	目標値	100	100	100	
			実績値	100	100		
達成率			100%	100%			
当該指標を選定した理由		公共施設案内サインの点検を実施することで、安全性や案内・誘導機能が確保されていることを確認できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		公共施設案内サイン（OH式）の5年以内の点検実施率＝点検実施サイン数／OH式サイン数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公共施設等サイン管理	事業番号	017-009
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	3,053	5,598	6,952	4,951	8,752
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	3,053	5,598	6,952	4,951	8,752
14	人件費（b）	9,315	8,100	6,300	6,720	6,960
15	年間経費（c）=(a)+(b)	12,368	13,698	13,252	11,671	15,712

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	サイン修繕業務（維持管理）	R8	予算	5,700	5,700	その他保険料	R8	予算	50	50
		R7	決算	0	0		R7	決算		
	サイン修繕業務（緊急対応）	R8	予算	200	200		R8	予算		
		R7	決算	0	0		R7	決算		
	施設等修繕料	R8	予算	300	300		R8	予算		
		R7	決算	0	0		R7	決算		
	サイン撤去工事	R8	予算	2,500	2,500		R8	予算		
		R7	決算	1,939	1,939		R7	決算		
	消耗品費	R8	予算	2	2		R8	予算		
		R7	決算	0	0		R7	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 公共施設案内サイン（OH式）の5年以内の点検実施件数	件	16	14
	② 上記①にかかる年間経費	千円	8,792	6,995
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	549,500	499,643
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	公共施設案内サインを適切に維持管理するため、職員による現地確認をもとに点検内容や修繕内容の精査を行い、また、公共施設案内サインのうち、OH式のものについては5年に1回の頻度で点検を実施することにより、安全性や案内・誘導機能の維持を確保することができた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	公共施設案内サインについて、サインの種類によって年度毎に点検を実施しているため点検実施箇所数にばらつきがあるものの、現地確認を行い点検内容や修繕内容、点検対象のサインを精査して安全点検を実施している。これに加えて職員による安全点検を実施することで、安全性を確保でき安心・安全な案内誘導につながっている。今後も、市民や来訪者の方々を市内の公共施設等へ円滑に案内誘導し利便性向上に寄与するため、公共施設案内サインの安全点検の実施や表示内容の修正、修繕等を適切に行う。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	令和3年度以降、公共施設案内サインの機能確保率は継続して100%を維持し、また、オーバーハング式サインの点検についても計画どおり実施しており、適切な維持管理を行っている。現地確認を踏まえた点検・修繕を着実に実施することで、安全性及び案内・誘導機能の確保を図っている。
	有効性	本事業は、市民や来訪者の円滑な移動を支える基盤的な取組であり、継続的な維持管理が不可欠であることから必要性は高い。また、案内サインの機能維持により利便性向上と安全確保に寄与しており、有効性も高いと判断する。